



PORSCHE



パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモ

プレスキット

目次

| | |
|-----------------|----------|
| 複合燃費と排出量 | 3 |
|-----------------|----------|

ハイライト

| | |
|-------------------------------|----------|
| 性能、効率性、および日常の実用性の組み合わせ | 4 |
|-------------------------------|----------|

概要

| | |
|--|--|
| スポーツツーリスモラインのトップに立つパナメーラ ターボS E-ハイブリッド6 | |
|--|--|

プラグインハイブリッドと4WD

| | |
|---------------------|----------|
| 高水準のハイブリッド性能 | 9 |
|---------------------|----------|

インテリアコンセプトとコネクティビティ

| | |
|------------------------|-----------|
| 高水準の日常の実用性と多用途性 | 12 |
|------------------------|-----------|

アシスタンスシステムとコンフォートシステム

| | |
|------------------------|-----------|
| ネットワーク・インテリジェンス | 15 |
|------------------------|-----------|

シャシーとシャシーシステム

| | |
|--------------------------|-----------|
| 性能と快適性の間のワイドなバランス | 16 |
|--------------------------|-----------|

エクステリア

| | |
|-----------------------------------|-----------|
| ラグジュアリークラスのための新しいデザインランゲージ | 19 |
|-----------------------------------|-----------|

標準装備

| | |
|------------------------|-----------|
| 最新の革新的なシャシーシステム | 22 |
|------------------------|-----------|

複合燃費と排出量

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモ:

燃料消費量(複合)3.0リッター/100 km、エネルギー消費量(複合)17.6 kWh/100 km、

CO₂排出量(複合)69 g/km

ハイライト

性能、効率性、および日常の実用性の組み合わせ

モデルラインの新しいフラッグシップ

2つの駆動システムを備えた最高出力500kW(680PS)のパナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツ ツーリスモは、スポーツツーリスモモデルラインのトップに立ちます。

911のような加速

850N・mの最大トルクを発生するプラグインハイブリッドドライブの0-100km/h加速タイムは3.4秒をマークします。

918スパイダー由来

918スパイダースーパースポーツカーから採用されたエレクトリックシステムは、エネルギー効率に優れるだけでなくブーストとしての役割も果たします。

エネルギーの持続可能な使用

新欧州ドライビングサイクル(NEDC)におけるパナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモの燃料消費量は3.0リッター/100km、電力消費量は17.6kWh/100kmです。

エミッションフリーのエレクトリックドライビング

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、エレクトリックシステムのみを使用して最長49km(NEDC)をゼロエミッションで走行することができます。

広範な装備

このトップエンドモデルには、エアサスペンション、セラミックブレーキ、21インチホイール、アクティブシャシー、ボーズ® サウンド システムなどの広範な標準装備が備わります。

アバンギャルドなデザイン

パナメーラ スポーツツーリスモは、Bピラー後方に独自のデザインを備え、ラグジュアリーセグメントにおいて、サルーンに代わる多用途を誇り実用的な選択肢となります。

4+1シートコンセプト

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモには、3 席のリアシート(2+1コンセプト)が標準装備されます。オプションで2つの独立したリアシートを選択することもできます。

概要

スポーツツーリスモラインのトップに立つパナメーラターボS E-ハイブリッド

ポルシェは、パナメーラ スポーツツーリスモモデルラインにパワフルなプラグインハイブリッドドライブを搭載して、ユニークなデザインと抜群の実用性を、卓越した性能と最高の効率性に結び付けます。ニューパナメーラターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、パワフルな4リッターV8エンジン(404kW/550PS)とほぼ無音の電気モーター(100kW/136PS)を組み合わせ、システム最高出力500kW/680PSを発生し、アイドリングの回転数を少し超えた時点から850N・mの最大トルクを供給します。0-100km/h加速タイムは3.4秒をマークし、最高速度は310km/hに達します。平均燃料消費量(新欧州ドライビングサイクル<NEDC>)は3.0リッター/100km、電力消費量は17.6kWh/100kmです。この最もパワフルなスポーツツーリスモは、電気システムのみを使用して最長49kmをゼロ・ローカルエミッションで走ります。パナメーラターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモをセグメント内でユニークなモデルにしているのは、性能と効率性のバランスだけではありません。この新しいフラグシップモデルは、大型テールゲート、低いローディングエッジ、増大したラゲッジコンパートメント容量、そして4+1シート構成を含む空間コンセプトによって高水準の日常の実用性を備えます。

3.4秒の0-100km/h加速タイムと310km/hの最高速度

パナメーラターボ スポーツツーリスモは、ヨーロッパの最も重要な自動車賞のひとつである「ゴールデン・ステアリング・ホイール賞」スポーツカー部門の受賞で証明されるように、高水準の日常の実用性を兼ね備えた抜群の性能を提供します。ポルシェは再び水準を上げます。すなわち、パナメーラスポーツサルーンと同様に、プラグインハイブリッドをスポーツツーリスモモデルのトップに据えて、ハイブリッドテクノロジーの莫大な潜在性能を改めて示します。市販モデル4WDのパナメーラターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモに使用されているブーストプログラムは、ポルシェ918スパイダースーパースポーツカーから受け継がれており、V8ツインターボ(404kW/550PS)と電気モーター(100kW/136PS)は、1,400rpmから850N・mのシステム最大トルクを発生します。ハイブリッドモジュールに統合されたデカップラーは、電気クラッチアクチュエーターを介して電気機械的に作動します。その結果が短いレスポンスタイムと高水準の快適性です。高速でシフトする8速ポルシェドッペルクップリングは、標準装備されるアダプティブ4WDシステムのポルシェトラクション マネジメントシステム(PTM)にパワーを伝えます。E-パフォーマンスドライブによって0-100km/h加速タイ

ムは3.4秒をマークし、静止状態から200 km/hまでを11.9秒で加速します。最高速度は310km/hです。しかし、この性能が持続可能性を犠牲にすることはありません。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、電気システムのみ(ゼロ・ローカルエミッション)で最高速度140km/hに達します。E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、バッテリーが通常の充電状態であれば自動的に電気モードで発進します。電気システムのみによる航続距離を超えると、ハイブリッドモードが作動します。容量14.1kWhのリチウムイオンバッテリーは、チャージャーと電源に応じて2.4-6時間で充電できます。

流麗なデザイン、アダプティブルーフスポイラー、そして4+1シートコンセプト

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、第2世代パナメーラの全てのイノベーションを提供します。そこには、デジタル化されたポルシェ アドバンスドコックピット、アダプティブクルーズコントロールを含むポルシェ インドライブなどの革新的なアシスタンスシステム、オプションのリア アクスルステアリングが含まれます。パナメーラ スポーツツーリスモセグメントのユニークな標準装備のルーフスポイラーは、走行条件と選択した車両設定に応じて3つの角度に切り替わります。これはリアアクスルに50kgまでのダウンフォースを追加します。走行速度が170km/h以下のときは、ポルシェ・アクティブエアロダイナミクス(PAA)の中心コンポーネントであるダイナミックガイドエレメントが-7度の格納ポジションに維持され、ルーフラインに沿って後方に傾斜します。速度が170km/hを超えるとルーフスポイラーは自動的に+1度のパフォーマンスポジションに移動し、走行安定性と横方向のダイナミクスを高めます。スポーツ/スポーツプラスモードを選択して90km/hを超えるとルーフスポイラーは自動的にパフォーマンスポジションに移動します。90km/h以上のときにオプションのパノラミックスライディングルーフを開くと、PAAのアクティブアシスタンスによってルーフスポイラーが+26度の角度に調節され、乱気流を低減して風切り音を抑えます。

コンセプトについても、このトップエンドモデルは、アバンギャルドなデザインから生じるニュースポーツツーリスモモデルのあらゆるメリットを提供します。スポーツサルーンに比べて引き上げられたスポーツツーリスモのルーフラインによって後席の乗降が容易になり、ヘッドルームも増大しています。電動操作が標準装備されるワイドな開口部のテールゲートと、高さわずか632mmのローディングエッジがラゲッジコパートメントの使いやすさに寄与します。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは3席のリアシートを装備します。最高の乗員快適性を備えたスポーツ性能というモデルラインの要求に合わせて、リアシートには、両サイドが分かれた2+1シート構成が採用されています。オプションで独立した2席の電動リアシートを選択することもできます。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモ

の収納スペースは、リアシートの上端まで積み込むとき425リッターにおよびます。3つのリアシートのバックレストを全部または個別(40:20:40分割)にラゲッジコンパートメントから電動でロック解除して格納することもできます。このとき収納スペースは1,295リッターまで拡張されます。

セラミックブレーキを含む広範な標準装備

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモの広範な標準装備には、例えば、ポルシェトルクベクトリング プラス(PTV Plus)リアディファレンシャルロックを含むロール安定化システムのポルシェ ダイナミックシャシー コントロールシステム スポーツ(PDCCスポーツ)、高性能ブレーキシステムのポルシェ セラミックコンポジットブレーキ(PCCB)、911ターボデザインの21インチ軽合金製ホイール、パワーステアリング プラス、スポーツクロノパッケージ、および補助エアコンが含まれます。最高出力324kW(440PS)以上を発生するパナメーラ スポーツツーリスモの全モデルと同様に、新しいトップエンドモデルもポルシェ・アクティブサスペンション・マネジメントシステム(PASM)を組み込んだアダプティブ3チャンバーエアサスペンションを装備しており、高水準のドライビングダイナミクスと走行快適性を誇ります。

プラグインハイブリッドと4WD

高水準のハイブリッド性能

V6ツインターボエンジンと電気モーターによって駆動されるパナメーラ 4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモに倣い、ポルシェは再びパナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモにおいてハイブリッドテクノロジーの多大な潜在性能を示します。ポルシェは、このトップエンドモデルにおいて、100kW(136PS)の電気モーターと404kW(550PS)のV8ツインターボエンジンを結合し、電気モーターとエンジンの連携によって、システム最高出力500kW(680PS)と最大トルク850N・mを発生します。電気システムは、スーパースポーツカーであるポルシェ918スパイダーから作動プログラムを受け継ぎ、優れたエネルギー効率性を発揮するだけでなくブーストとしての役割も果たします。パナメーラ スポーツツーリスモは、ターボのように作動するモーターの追加によって、4ドアのパナメーラサルーンと同じくスポーツカー然としたパフォーマンスを実現します。

電気クラッチアクチュエーターと高速シフトの8速PDK

電気モーターとV8エンジンは、ポルシェ ハイブリッドモジュールのデカップラーを介して接続されています。電気機械的に作動するこの電気クラッチアクチュエーター(ECA)が迅速なレスポンスと優れた快適性を提供します。8速ポルシェ ドッペルクップリングは、標準装備されるアダプティブ4WDシステムのポルシェ トラクション マネジメントシステム(PTM)にパワーを伝えます。プラグインハイブリッドドライブによって新しいトップエンドモデルの0-100km/h加速タイムは3.4秒をマークし、最高速度は310km/hに達します。

水冷式リチウムイオンバッテリー

電気モーターは、容量14.1kWhの水冷式リチウムイオンバッテリーによって電力が供給されます。リアに統合された高電圧バッテリーは、230V/10Aの接続を介して6時間以内に完全に充電されます。標準装備される3.6kWチャージャーの代わりにオプションの7.2kWオンボードチャージャーと230V/32Aの接続を使用すると、パナメーラ スポーツツーリスモはわずか2.4時間で完全に充電されます。ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム(PCM)やPorsche Connectアプリ(スマートフォンとApple® Watch用)を介してタイマーで充電を開始することもできます。さらに、パナメーラターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモには、送電網を使用して充電中に車内を冷房または暖房するための補助エアコンも標準装備されます。

「Eパワー」モードからの発進とA+のエネルギー効率性クラス（ドイツ）

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、通常、電気駆動の「Eパワー」モードで発進し、エレクトリックシステムのみを使用して最長49kmをゼロエミッションで走ります。アクセルペダルをキックダウンするか、バッテリーの充電レベルが最低値を下回ると、エレクトリックモーターとエンジンの両方を使用する「ハイブリッドオート」モードに切り替わります。新欧州ドライビングサイクル(NEDC)におけるプラグインハイブリッドモデルの燃料消費量(スーパーグレードガソリン)は3.0リッター/100kmで、69g/kmのCO₂排出量に相当します。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、ドイツ最高のエネルギー効率性クラスであるA+の獲得によって、エネルギーを運動に変換する優れた効率性が実証されています。

「ハイブリッドオート」モードによる最も効率的な作動

ステアリングホイールに組み込まれたモードスイッチを含むスポーツクロノパッケージが、パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモに標準装備されます。モードスイッチとポルシェ コミュニケーション マネジメントシステムを使用して各ドライビングモードを選択します。これらのモードには、他のパナメーラ モデルのスポーツクロノパッケージ仕様車でおなじみの「スポーツ」と「スポーツプラス」モード、ハイブリッド専用の「Eパワー」、「ハイブリッドオート」、「Eホールド」、および「Eチャージ」モードが含まれます。

Eパワー

「Eパワー」モードを選択すると、パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、エレクトリックシステムのみを使用して最高49kmをゼロエミッションで走ります。

ハイブリッド オート

完全に新開発された「ハイブリッドオート」モードを選択すると、パナメーラは、究極の効率性を得るために2つのドライブシステムを自動的に切り替え/組み合わせます。

Eホールド

「Eホールド」モードを選択すると、現在の充電状態を維持しながら、電気モードに切り替えて環境保護ゾーンなどをゼロエミッションで走行することができます。

Eチャージ

「Eチャージ」モードにすると、8気筒エンジンでバッテリーを充電します。そのため、ガソリンエンジンは実際の走行に必要なレベルを超えるパワーを発生します。

スポーツ/ スポーツプラス

「スポーツ」/「スポーツプラス」モードを選択すると、V8ツインターボエンジンが継続的に作動して、最高水準の走行性能を利用することができます。「スポーツ」モードでは、バッテリーの充電が常に最高レベルに維持されて、必要なときに十分なエネルギーをブーストに使用することができます。「スポーツプラス」モードにすると、最高のパフォーマンスを引き出すためにバッテリーが高速で充電されます。

インテリアコンセプトとコネクティビティ

高水準の日常の実用性と多用途性

このパナメーラは、高水準の快適性、ポルシェ特有のスポーツ性、そして高度の多用途性を備えたアバンギャルドなデザインを結び付けます。そのためこのモデルは、ラグジュアリーセグメントの異例として、従来のサルーンの固定したインテリア構造を超えて柔軟性を求める全ての人々の選択肢となります。パナメーラ スポーツツーリスモは、さらに用途の広いリアによってこのモデルラインナップ独自のセールスポイントを強調しています。この2017年にデビューを果たしたモデルは、3席のリアシートを備えてポルシェのライプツィヒ工場から出荷される初のパナメーラです。オプションで2つの独立したリアシートを選択することもできます。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、リアシートをノーマルポジションにした状態で425リッターのラゲッジコンパートメント容量を備えます。さらに、3つのリアシートのバックレストを全部または個別(40:20:40分割)にラゲッジコンパートメントから電動でロック解除して格納することもできます。ルーフの高さまで荷物を積み込むと、ラゲッジコンパートメントは1,295リッターまで増加します。

スポーツツーリスモのラゲッジコンパートメントは、標準装備される電動開閉式テールゲート、約63cmの低いローディングエッジ、ホイールハウス間のワイドな92cmの幅によって積み込みやすく、1,088mmの長いローディングフロアには重いゴルフバッグも楽に収まります。コンフォートアクセスが装備されている場合は、車がキー信号によってオーナーを検知するのでフットジェスチャーでテールゲートを開閉することができます。

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモのラゲッジコンパートメントには、オプションでロードスペースマネジメントシステムが用意されています。あらゆる種類の荷物を固定して輸送するこの多用途なシステムには、ローディングフロアに統合された2本のレール、4か所のラッシングポイント、およびパーティションネットが含まれます。リトラクタブルラゲッジコンパートメントカバーが標準装備されます。ミーティングに向かう途中でノートパソコンの急速充電が必要な場合は、ラゲッジコンパートメントにオプション装備される230V電源ソケットを使用することもできます。

ハイブリッド専用ディスプレイを備えたポルシェ アドバンストコックピット

第2世代ポルシェ パナメーラの一般的な装備であるデジタル化されたディスプレイとコントロールコンセプトが、タッチセンサー式パネルと個別に設定可能なディスプレイを備えたポルシェ アドバンストコックピットです。インタラクティブなコックピットには2つの7インチディスプレイが備わります。パナメーラターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、「アシッドグリーン」のインジケーターと“turbo S”ロゴを備えたハイブリッドドライビング用のユニークなパワーメータによって、モデルラインの他の車から区別されます。パワーメータには、現在使用中の電気量や回生機能によって得られるエネルギー量などのデータが表示されます。

センターコンソールの12.3インチタッチスクリーンは、ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) のセンターコントロールとディスプレイユニットとして機能し、ハイブリッドに関するさまざまな情報にアクセスすることができます。実用的かつ有益な装備がブーストアシスタントとハイブリッドアシスタントです。ブーストアシスタントは、ブースティングに利用できるエネルギーを表示し、ハイブリッドアシスタントは、電気駆動ドライブのパワー制御のためにさまざまな視覚信号を表示します。

「ポルシェE-パフォーマンス」には、スポーツクロノパッケージが標準装備されます。ここには、4つのドライビングモードを作動することができるステアリングホイールのモードスイッチが含まれます。他のパナメーラ モデルのスポーツクロノパッケージ仕様車と同様に、おなじみの「スポーツ」と「スポーツプラス」モード、そして最高のパフォーマンスを引き出すための「スポーツレスポンススイッチ」が装備されます。「Eパワー」と「ハイブリッドオート」の2つのハイブリッド専用モードも含まれます。追加モードの「Eホールド」と「Eチャージ」は、ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) から操作します。

Porsche Connectによるハイブリッド機能の制御

PCMの標準機能のひとつがポルシェ コネクト プラスです。このオンラインワールドのインターフェースにはApple® CarPlayとポルシェ カーコネクト アプリ (PCC) が含まれます。ニューパナメーラターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモのドライバーは、スマートフォンとApple® Watchアプリを使用して、バッテリーと充電の管理やハイブリッド機能のリモートコントロールを含むハイブリッド専用Porsche Connectサービスにアクセスすることができます。バッテリーと充電の管理機能によって、電気駆動システムのみでの航続距離、システム全体での航続距離、ハイブリッドバッテリーの充電状態、残りの充電時間などの重要な情報を表示することができます。リモートコントロール機能によって、充電プ

ロセスの開始や最新の充電終了時間の設定を含むハイブリッド専用機能の制御が可能になります。標準装備のエアコンシステムの調節アプリによって、エンジンを始動する前に車内を冷暖房することもできます。これは送電網からの電気を使用して行われます。

アシスタンスシステムとコンフォートシステム

ネットワーク・インテリジェンス

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモには、オプションのポルシェ イノドライブやナイトビジョンアシストなど、ドライビングエクスペリエンスをさらに快適で便利にするだけでなくより安全にするための、多数の標準装備またはオプションのアシスタンスシステムが装備されます。ナイトビジョンアシストは、熱探知カメラにより300m先までの人間や大型動物を検知し、ディスプレイに警告を表示します。もうひとつの精巧な機能であるアダプティブ クルーズ コントロールを備えたポルシェ イノドライブは、3D高解像度ナビゲーションデータに基づいて、3km先までの最適な加速値と減速値、ギア選択、コースティングの詳細を計算して適用します。そのために、この電子制御コパイロットは、コーナー、勾配、および最高速度を自動的に考慮し、レーダーとビデオセンサーを使用して現在の交通状況と制限速度を検知して、それに従って制御プロセスを調整します。

アシスタンスシステムの範囲は、ポルシェのドライビングプレジャーが制限される交通渋滞の走行などの状況にも拡張されています。トラフィックジャム アシストは、渋滞時に60km/h以下で走行しているときに、車の前後およびサイドの統合制御によってドライバーをサポートします。これは、アダプティブ クルーズ コントロール(ACC)による前方車両の追跡と電気機械式ステアリングシステムによるステアリングアシストの組み合わせによって可能になります。トラフィックジャム アシストはいつでも簡単に解除することができます。

シャシーとシャシーシステム

性能と快適性の間のワイドなバランス

パナメーラ スポーツツーリスモの総合コンセプトにあわせて、シャシーもラグジュアリーサルーンの走行快適性とスポーツカーの性能を兼ね備えます。基本のシャシーレイアウトが、最高の快適性と性能のために設計された革新的シャシーシステムによって補完されています。これらのアシスタンス/コンビニエンスシステムのほぼ全てがパナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモに標準装備されます。そこには、ポルシェ・アクティブサスペンション・マネジメントシステム (PASM) を組み込んだアダプティブ エアサスペンション、ポルシェトルクベクタリング プラス (PTV Plus) を含むアクティブシャシーコントロールおよびロール安定化システムのポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロール・スポーツ (PDCC スポーツ)、ポルシェ セラミックコンポジットブレーキ (PCCB) が含まれます。オプションで、スポーツカーのステアリング精度とハンドリング特性をラグジュアリーサルーンクラスに提供するリア アクスル ステアリングも用意されています。パナメーラの全モデルにおいて、統合された4Dシャシーコントロールシステムが、車両の全てのシャシーシステムをリアルタイムに分析・同期して、ハンドリング性能を最適化するためのデータを提供します。

オプションのリア アクスル ステアリング

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモにはオプションでリア アクスル ステアリングも用意されています。50km/hまでの低速域では、走行速度に応じてリアホイールをフロントホイールと反対の方向に最大2.8度の操舵角まで操舵します。これはホイールベースを短くした場合と同様の効果があり、コーナリングのダイナミクスを強化して駐車操作を容易にします。高速走行時には、システムは走行速度に応じてフロントホイールと同一方向にリアホイールを操舵します。これはホイールベースを延長した場合と同様の効果があり、特に高速道路での迅速な車線変更の際に走行安定性を高めます。リア アクスル ステアリングは、アクティブセーフティとドライビングダイナミクスを改善し、低速域では必要な操舵角を抑えて快適性を高めます。さらにリア アクスル ステアリングは、フロントアクスルのいっそうダイレクトなステアリングレシオを可能にして、抜群のスポーツエクスペリエンスをもたらします。

統合されたポルシェ4Dシャシーコントロール

ポルシェ4Dシャシーコントロールは、中央にネットワーク化されたシステムです。現在の走行条件を3次元(前後、横、および垂直G)から分析して、このデータを走行条件について最適な情報を計算するために使用し、情報をリアルタイムで全てのシャシーシステムに一貫して利用できるようにします。つまり4次元のシャシーコントロールです。これによってシステムは差し迫った走行状況に総合的に応答することができます。例えば、コーナーへのダイナミックな進入時には、PASM電子制御ダンパーコントロール、アダプティブエアサスペンション、リアアクスルステアリング、PTV Plus、およびPDCCスポーツが、最適なステアリング特性、抜群の俊敏性および安定性のために連携します。ポルシェ4Dシャシーコントロールは、ドライバーが操舵を開始すると直ちにシャシーシステムに情報を入力します。つまりシステムは、最高のコーナリング性能のために迅速に応答することができます。

ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム (PASM)

標準装備のポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム(PASM)は電子制御ダンパーコントロールで、路面状況やドライビングスタイルのデータに応じて各ダンパーの減衰力を無段階に調節します。最新パナメーラに装着されるPASMは、応答性が改善され、快適性とスポーツ性とのバランスを最適に調整します。「ノーマル」、「スポーツ」、「スポーツプラス」の3種類のドライビングモードが用意されています。高速走行時、制動時、高速コーナリング時、または悪路の走行中にセンサーがボディの動きを検出するとPASMが作動します。PASMは捕捉したデータをポルシェ4Dシャシーコントロールに送信します。コントロールセンターが現在の路面条件を計算し、ドライビングモードに応じてPASMのダンパーの硬さとアダプティブエアサスペンションのダンパー特性とスプリングレートを制御します。4Dシャシーコントロールによって他の電子制御シャシーシステムの制御パラメーターも連動します。その結果、走行安定性、性能、および快適性が向上します。

PASMを組み込んだアダプティブエアサスペンション

パナメーラターボS E-ハイブリッドスポーツツーリスモには3チャンバーエアサスペンションが標準装備されます。アダプティブエアサスペンションは特に快適性について新しいベンチマークを設定します。初代パナメーラのエアサスペンションに比べて大幅に改善された現在のシステムは、スプリングストラットごとに2つではなく3つの切り替え式エアチャンバーを備え、空気量が約60%増加しています。これに

よってスプリングレートがさらに向上します。シャシーは快適性を高めるベーシックな低いスプリングレートに設定されており、加速時や制動時またはロールを抑える時など、必要な際には何分の1秒の単位で直ちにスプリングレートが電子制御されます。

さらにエアサスペンションは、よく知られたセルフレベルリング機能によるメリットも提供します。ノーマルレベルとともに、リフトレベルとローレベルが用意されています。リフトレベルは、シャシーを20mm持ち上げることによって例えば地下の駐車場に入るときにフロントスポイラーが損傷するのを防ぎます。ローレベルはフロントアクスルを28mm、リアアクスルを20mm下げて、高速走行時に道路に対する車の姿勢を適合させてエアロダイナミクスを改善します。

PTV Plusを組み込んだアクティブなロール安定化システムのPDCCスポーツ

パナメーラ スポーツツーリスモのポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロール・スポーツ (PDCCスポーツ) は、電気機械式スタビライザーの統合によってダイナミクスを最適化します。このシステムは油圧アクチュエーターを備えたシステムよりはるかに迅速に応答し、スタビライザーを硬化してボディのロールを防ぎます。ポルシェはパナメーラにおいてPDCCスポーツとポルシェトルクベクトリング プラス (PTV Plus) を組み合わせます。PTV Plusの電子制御リアディファレンシャルがリアホイール間の可変トルク配分を行い、各ホイールにブレーキをかけてリアアクスルにステアリングトルクを追加します。その結果、さらに俊敏なステアリング特性が得られます。一方PTV Plusは、コーナー出口の加速時にディファレンシャルロックを適宜使用して高水準のトラクションを付加します。

エクステリア

ラグジュアリークラスのための新しいデザインラング ージ

ポルシェは、パナメーラ スポーツツーリスモによって、ラグジュアリーセグメントにアバンギャルドなツーリングカーを導入しました。ダイナミクス、快適性、多用途性の組み合わせが従来のサルーンにユニークな選択肢を追加します。新しいパナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、モデルラインのトップエンドに立ちます。

シルエット：長いルーフラインと際立つDピラー

パナメーラ スポーツサルーンと同様に、スポーツツーリスモもダイナミックなプロポーションと力強くエレガントなデザインエレメントによって特徴づけられています。スポーツツーリスモは、全長5,049mm、全高1,428mm、全幅1,937mmで、短いオーバーハングの間で延長されたホイールベースは2,950mmです。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモには、21インチホイールが標準装備されます。

力強いホイールアーチと目立つショルダールの上部に、細長いウインドウラインと長いルーフラインが広がります。断熱ガラスのティンテッドサイドウインドウが、ポリッシュブラックに塗装されたBピラーとCピラーのトリムとともにリアへと流れる若々しいシャープな表面を形成します。ターボS E-ハイブリッドのウインドウはクロム仕上げの細長いサイドウインドウトリムによってフレーミングされています。ルーフ後部はウインドウラインよりもなだらかに下降し、特徴的なDピラーを形成します。Dピラーはこのタイプの車では珍しい角度に傾き、ショルダールエリアにスポーツカーのルックスを与えます。パナメーラ全バージョンに共通するひとつの特徴的装備が、フロントフェンダーのエアアウトレットベントです。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモのエアアウトレットベントはボディカラーと同色に塗装されています。

ルーフテクノロジー：アダプティブルーフスポイラーとパノラミックルーフシステム

パナメーラ スポーツツーリスモには、オプションでパノラミックルーフシステムが用意されています。ポルシェがこれまで開発した最大のスライディングルーフシステムで、2セクションのガラスルーフの前部は、上方へのチルトと全開が可能です。連続調節式の2枚のロールアップブラインドは、必要に応じて車内を強い日差しから保護します。全バージョンにオプションのルーフトランスポートシステムも用意されています。パノラミックルーフシステムの有無にかかわらずルーフの最大積載荷重は75kgです。

ルーフは、テールゲートでポルシェ・アクティブエアロダイナミクス(PAA)のメインコンポーネントであるアダプティブスポイラーへと移行します。ハイグロスブラック塗装仕上げのルーフスポイラーは、170km/hの速度まで空気抵抗を抑えて燃費を改善します。170km/hを超えるとリアアクスルのダウンフォースを高めて車の挙動を最適化します。ルーフスポイラーは走行条件と選択した車両設定に応じて自動的に2段階にセットされ、リアアクスルに50kgのダウンフォースを追加します。170km/hまでは空力ガイドエレメントが-7度の角度で空気抵抗を抑え、燃費を最適化します。170km/hの速度を超えるとルーフスポイラーは自動的に+1度の“パフォーマンス”ポジションに移動し、走行安定性と横方向のダイナミクスを高めます。「スポーツ」と「スポーツプラス」ドライビングモードを選択した場合、90km/hを超えるとルーフスポイラーは自動的にパフォーマンスポジションに移動します。90km/h以上のときにパノラミックスライディングルーフを開くと、PAAのアクティブなアシスタンスによってルーフスポイラーが+26度の角度に調節され、風切り音を抑えます。ルーフスポイラーは、必要に応じてポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム(PCM)から手動で操作することもできます。エアインテークの可変制御を備えたアクティブクーリングエアインテークを使用して、アクティブなボディエレメントがフロントセクションのエアロダイナミクスを最適化します。

リアセクション：3Dライトストリップと低いローディングエッジ

リアのデザインは、ルーフスポイラー、力強いスポーツカーのショルダー、そして“Porsche”ロゴを冠した水平ストリップと4灯のブレーキライトを備えたLEDテールライトによって特徴づけられています。ボディ全幅におよぶ水平エレメント上部の細長いライトストリップによって、パナメーラ モデルを夜間に見間違えることはありません。さらに、一貫した水平構造がパナメーラ スポーツツーリスモの車幅を強調します。水平ストリップの下のテールゲートは、バンパーやサイドボディエレメントと一体化します。電動開閉式テールゲートの下の低いローディングエッジの高さはわずか63cmです。

エグゾーストシステムのバージョン専用ブラッシュステンレススチール製テールパイプとセンターディフューザーは、リアバンパーに見事に統合されています。パナメーラ ターボ スポーツツーリスモとターボ S E-ハイブリッド スポーツツーリスモはモデル専用の角型ツインテールパイプを備えます。

フロント：特徴的なフェンダーとボンネット

パナメーラ スポーツツーリスモは、フロントセクションのポルシェ特有の外見をスポーツサルーンと共有します。両モデルともにフロントから見ると非常にワイドです。この効果は、1,937mmの広い全幅(ドアミラーなし)と1,432mmの低い全高の比率、そしてフロントセクションの外側に向けたA形のエアインテークによって強調されています。同時に、ラジエーターグリルの厳密に設計されたクロスバーが車幅を引き立てます。目立つパワードームを備えた矢印形のボンネットは、2ドアスポーツカーのデザイン上の特徴であるフロントからの低くワイドなルックスを与えます。パワードームの左右には、精緻なアーチ形のフェンダーがボンネットから隆起します。4灯のLEDデイタイムランニングライトを備えた3つの異なる仕様のLEDヘッドライトも優位性の感覚を付加します。

標準装備

最新の革新的なシャシーシステム

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモには、ポルシェ・アクティブサスペンション・マネジメントシステム (PASM) を組み込んだアダプティブ3チャンバーエアサスペンションと4WDシステムのポルシェ トラクション マネジメントシステム (PTM) が標準装備されます。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモの拡張された標準装備には、ポルシェトルクベクタリング プラス (PTV Plus) を含むアクティブシャシーコントロールおよびロール安定化システムのポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロールシステム・スポーツ (PDCCスポーツ)、911ターボデザインの21インチ軽合金製ホイール、およびポルシェ セラミックコンポジットブレーキ (PCCB) が含まれます。

ハイブリッド専用装備には、携帯バッグとウォールマウントを備えたポルシェ ユニバーサルチャージャー (AC)、コントロールユニットと車の接続用ケーブル (2.5m)、および2本の付属ケーブル (コントロールユニットと家庭のコンセントの接続用1本、コントロールユニットと業務用400Vコンセントの接続用1本) が含まれます。

標準装備される広範なカラーレンジ

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモの外見は、ブラッシュステンレススチール・ツインテールパイプ、サイドの“e-hybrid”ロゴ、およびテールゲートのモデル ロゴ (ハイグロスシルバー、アシッドグリーンのエッジング付)、アシッドグリーンのブレーキキャリパー、ポルシェ・ダイナミック・ライトシステム (PDLS) を含むLEDヘッドライト、および自動展開式4-wayリアスポイラーによって特徴づけられます。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモの標準仕様のエクステリアは、ソリッドカラーのブラックまたはホワイト、メタリックカラーのキャララホワイト メタリック、ジェットブラック メタリック、ボルケーノグレー メタリック、ロジウムシルバー メタリック、サファイアブルー メタリック、ナイトブルー メタリック、アゲートグレー メタリック、マホガニー メタリック、バーガンディレッド メタリック、またはリストラットブラウン メタリックに塗装することができます。オプションでスペシャルカラーと独自の塗装仕上げも用意されています。

14-wayシート、ボース® サウンド システム、およびフルレザー インテリア

車内の標準装備も拡張されています。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモには、補助エアコン、14-way電動調節機能およびメモリーパッケージ付フロントコンフォートシート、フロントとリアのシートヒーター、ブラック、サドルブラウン、アゲートグレーまたはマルサラのレザー インテリア、電動調節(高さと位置)マルチファンクションステアリングホイール、ダークウォールナットのウッド インテリアパッケージ、アルカンターラのルーフライニング、ルーフピラーエリアおよびサンバイザー、710Wのボース® サウンド システムが標準装備されます。

※ 仕様は国により異なることがあります。